



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月5日

上場会社名 JUKI株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6440 URL https://www.juki.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長○○○ (氏名)内梨 晋介
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートオフィサー財務経理部長 (氏名)南 大造 (TEL) 042-357-2211
 四半期報告書提出予定日 2021年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	73,122	56.3	3,004	—	2,748	—	1,657	—
2020年12月期第3四半期	46,777	△37.1	△4,647	—	△4,220	—	△4,895	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 3,603百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 △5,554百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	56.60	—
2020年12月期第3四半期	△167.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	119,831	34,385	28.4
2020年12月期	110,230	31,368	28.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 33,989百万円 2020年12月期 31,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	42.0	3,100	—	2,800	—	2,000	—	68.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	29,874,179株	2020年12月期	29,874,179株
2021年12月期3Q	579,344株	2020年12月期	578,890株
2021年12月期3Q	29,295,123株	2020年12月期3Q	29,295,345株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、アジアや中南米等の新興国で新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続しているものの、いち早く回復した中国経済の拡大やワクチン接種が進んだ欧米など先進国での経済活動の活性化により回復局面に入っております。

当社を取り巻く事業環境は、一部国・地域で新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、お客様である縫製工場の稼働率向上や5Gなどに牽引された半導体関連等の需要拡大により設備投資需要の回復が進み、またお客様のサプライチェーン分断への対応（生産地分散化）など、当社のビジネスチャンスに繋がる動きも出始めており、前年同期と比較すると大幅に改善しております。

また、AI/IoT/5G等技術革新の加速、市場/顧客の変化などニューノーマルな環境への対応や“持続可能な開発目標(SDGs)”への取り組み強化が求められる中、当社は2020年から2022年までを計画期間とする中期経営計画フェーズIIを見直し、付加価値構造改革及びコスト構造改革を強力に推進し、併せて6つの変革(6X)で事業戦略と体制戦略の変革を強力に推し進めることで、成長軌道への回帰と質的変換に取り組んでおります。

※6つの変革=①成長性の期待できる市場とお客様の開拓、②収益力をアップする事業領域の拡大、③“持続可能な開発目標(SDGs)に向けた”経営の実現、④先端技術の活用によるイノベティブな技術領域の拡大、⑤経営の5S(Simple, Slim, Speedy, Seamless, Smart)を軸とした生産体制及び管理(間接)業務体制の構築、⑥財務体質強化による自己資本強化と資産効率向上

当第3四半期連結累計期間においては、一部部品調達の遅れや物流遅延等の影響はあったものの、上記経済環境の活性化を捉え、各事業において市場回復期の需要取り込みや成長分野におけるシェア拡大など全社的に営業活動を展開した結果、売上高は731億2千2百万円(対前年比56.3%増)となりました。

利益面につきましては、売上の増加及び工場稼働率が向上したことに加え、コスト構造改革で抑制した固定費削減の継続に努めた結果、営業利益は30億4百万円(前年同期は46億4千7百万円の損失)、経常利益は27億4千8百万円(前年同期は42億2千万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億5千7百万円(前年同期は48億9千5百万円の損失)となりました。

第4四半期以降も、一部の国・地域で新型コロナウイルス感染が引き続き拡大しておりますが、5Gなどに牽引された半導体やロボット等の力強い需要拡大や、各国経済の活性化、新興国市場の拡大などを捉えた売上の着実な取り込みを実現するとともに、コスト構造改革を継続し、売上・利益の向上を図ってまいります。

(主なセグメント別の概況)

① 縫製機器&システム事業

工業用ミシンの売上高は、一部部品調達の遅れやアジア地域におけるコロナ感染拡大によるロックダウンの影響等があったものの、欧米、中国等の市場の活性化により縫製工場の稼働率が向上し、主要な市場で増加しました。その結果、縫製機器&システム事業全体の売上高は450億2千6百万円(対前年比59.4%増)となりました。利益面においては、売上の増加及び工場稼働率の向上並びにコスト削減の継続により、セグメント利益(経常利益)は16億7千5百万円(前年同期は22億2千2百万円の損失)となりました。

第4四半期以降も、需要回復が本格化する中で、新興国での需要回復の取り込みやスマートソリューション提案等付加価値の高い事業領域の拡大を推進してまいります。

② 産業機器&システム事業

産業装置では、物流遅延等の影響があったものの、中国等を中心に5G関連等の設備投資需要を捉え、高速機を中心に戦略的な拡販を進め、対前年比88.5%増と売上が回復しました。また、国内を中心とした受託加工等のグループ事業の売上も対前年比増加に転じ、この結果、産業機器&システム事業全体の売上高は279億1千6百万円(対前年比52.1%増)となりました。利益面においては、売上の増加及び工場稼働率の向上並びにコスト削減の継続により、セグメント利益(経常利益)は20億1千7百万円(前年同期は5億9千8百万円の損失)となりました。

第4四半期以降も、新型マウンタやライン提案による高速機需要の取り込みを強化するとともに、非SMT分野等付加価値の高い事業領域の拡大をより強力に推進することで、売上・利益の向上を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、資金効率向上の観点より預金を借入金返済に充当した一方で売上増加に伴い売掛金やたな卸資産が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ96億1百万円増加して1,198億3千1百万円となりました。負債は、借入金が増加した一方で買掛金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ65億8千4百万円増加して854億4千6百万円となりました。純資産は、利益剰余金が増加し、為替換算調整勘定のマイナス額が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ30億1千6百万円増加して343億8千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の業績予想につきましては、欧米、中国は新型コロナウイルス感染拡大による影響から回復しつつあるものの、アジアの新興国ではロックダウンが行われるなど、新興国での事業環境が不透明であることから、前回公表値(2月12日)から変更していません。今後、事業環境など当社の業績に与える影響を勘案した上で、予想値について精査してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,831	6,537
受取手形及び売掛金	23,326	31,087
たな卸資産	36,709	45,414
その他	2,653	3,095
貸倒引当金	△530	△411
流動資産合計	75,990	85,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,213	10,818
土地	6,322	6,322
その他（純額）	5,948	5,543
有形固定資産合計	23,484	22,684
無形固定資産		
投資その他の資産	1,922	1,897
その他	10,172	10,800
貸倒引当金	△1,338	△1,272
投資その他の資産合計	8,833	9,528
固定資産合計	34,240	34,109
資産合計	110,230	119,831
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,124	11,624
電子記録債務	3,004	5,403
短期借入金	34,053	34,014
未払法人税等	337	643
賞与引当金	29	441
その他	5,403	7,006
流動負債合計	49,952	59,133
固定負債		
長期借入金	21,989	19,513
役員退職慰労引当金	63	27
退職給付に係る負債	5,253	5,315
その他	1,603	1,455
固定負債合計	28,909	26,312
負債合計	78,861	85,446

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	1,990	1,990
利益剰余金	15,073	16,145
自己株式	△607	△607
株主資本合計	34,501	35,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	478	579
為替換算調整勘定	△4,063	△2,268
退職給付に係る調整累計額	116	103
その他の包括利益累計額合計	△3,468	△1,584
非支配株主持分	335	396
純資産合計	31,368	34,385
負債純資産合計	110,230	119,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	46,777	73,122
売上原価	36,716	53,105
売上総利益	10,060	20,016
販売費及び一般管理費	14,708	17,011
営業利益又は営業損失(△)	△4,647	3,004
営業外収益		
受取利息	32	39
受取配当金	94	97
受取手数料	103	99
貸倒引当金戻入益	34	22
助成金収入	1,084	213
その他	204	359
営業外収益合計	1,553	831
営業外費用		
支払利息	625	479
為替差損	401	478
その他	99	128
営業外費用合計	1,126	1,086
経常利益又は経常損失(△)	△4,220	2,748
特別利益		
固定資産売却益	33	17
特別利益合計	33	17
特別損失		
固定資産除売却損	164	24
投資有価証券評価損	152	-
特別退職金	238	-
新型コロナウイルス感染症による損失	-	※ 81
特別損失合計	554	105
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△4,742	2,660
法人税等	229	941
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,971	1,718
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△75	60
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,895	1,657

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,971	1,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	101
為替換算調整勘定	△616	1,795
退職給付に係る調整額	△17	△12
その他の包括利益合計	△583	1,884
四半期包括利益	△5,554	3,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,475	3,542
非支配株主に係る四半期包括利益	△78	60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大による影響に関して、現時点においてこれらの影響を合理的に見積ることは困難ですが、外部の情報等を踏まえ新型コロナウイルスの感染拡大による影響が2021年12月期の一定期間まで継続するものと仮定して、固定資産の減損判定及び繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 新型コロナウイルス感染症による損失

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ベトナムで実施されたロックダウンによる臨時対策費用81百万円を特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,253	18,357	46,610	166	46,777	—	46,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	537	40	578	293	872	△872	—
計	28,791	18,397	47,189	460	47,649	△872	46,777
セグメント利益 又は損失(△)	△2,222	△598	△2,820	62	△2,757	△1,462	△4,220

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,462百万円には、セグメント間取引消去60百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△1,522百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	45,026	27,916	72,942	179	73,122	—	73,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	586	99	686	323	1,009	△1,009	—
計	45,612	28,016	73,629	502	74,131	△1,009	73,122
セグメント利益	1,675	2,017	3,692	56	3,749	△1,000	2,748

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△1,000百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△1,000百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。